

大会宣言

100年前、被差別部落の青年たちが
差別をなくすために立ち上がり
人間らしく生きていける社会を実現するために、団結し
「人の世に熱あれ、人間に光あれ」とうたい
「全国水平社」を結成した

「今日も机にあの子がいない」
先達は被差別部落の子どもたちのくらしに入り
差別によって学ぶ権利が奪われ、生きる権利さえも脅かされている現実にてあい
「部落のおかれている姿から物事を見、考えていく」
同和教育の実践をつむいでいった

「水平社宣言」から100年を経て
人権・同和教育をつないできた今もなお
部落差別は厳然として存在している
さらに、経済格差、競争社会、気候変動、戦争や紛争などにより
社会的に弱い立場におかれている人の人権が蔑ろにされている

新型コロナウイルス感染症はわたしたちに問いかける
これからの100年が
持続可能な社会であるために
誰一人として排除しない、排除されない社会であるために
他者を尊重し、多様性を認め合い、寛容であることが大切なことを

この奈良の地から
だれもが「おなつき坂をこえて」
すべての人を包摂する社会へと歩みをすすめ
差別の現実から深く学び、互いの実践を交流し
それぞれの教育実践へとつないでいこう

2022年11月26日
第73回全国人権・同和教育研究大会